

廃棄物パート

黒崎美穂
中西心紀



趣旨と流れ

目的・・・日本の廃棄物政策を紹介する

- 中国の廃棄物問題の現状
- 日本の廃棄物政策の具体例 (EPR)



中国の廃棄物の分類

- 都市生活固体廃棄物(生活ゴミ)
処理責任・・・市の「環境衛生局」
- 工業固体廃棄物(工業ゴミ)
処理責任・・・排出企業、規制・管理・・・「環境衛生局」

都市生活固体廃棄物に着目



都市生活固体廃棄物の問題

- 固体廃棄物汚染は四害の一つ
- 無害化処理率、再利用率が低い
- 「ごみが城を囲む」
- 都市化による急激な増加(年10%増)
- 白色汚染(プラスチック)の増加



最近の動向(プラス面)

- 「廃旧物資」思想の存在
- 専門家がゴミ処理の市場化を模索
有料化を段階的に推進
行政と企業が一体化した処理システム
- 先進的ゴミ処理技術の推進
衛生的埋め立て、焼却、堆肥化、リサイクル



都市ゴミ処理率の向上

都市ゴミ処理率

2.3% (90年)



63.4% (99年)

取り組みの成果はみられるが問題は山積み



中国の廃棄物問題のまとめ

- 衛生処理がされない廃棄物が存在
- 廃棄物の総排出量が大幅に増加
- ゴミ内容の変化
- 埋め立て処分場の逼迫

先進国型の廃棄物問題へ移行



同じ問題を抱える日本の事例が参考になる



日本の廃棄物政策

- 日本の廃棄物問題
- 日本の廃棄物政策の流れ
- E P R
- 法律の具体例



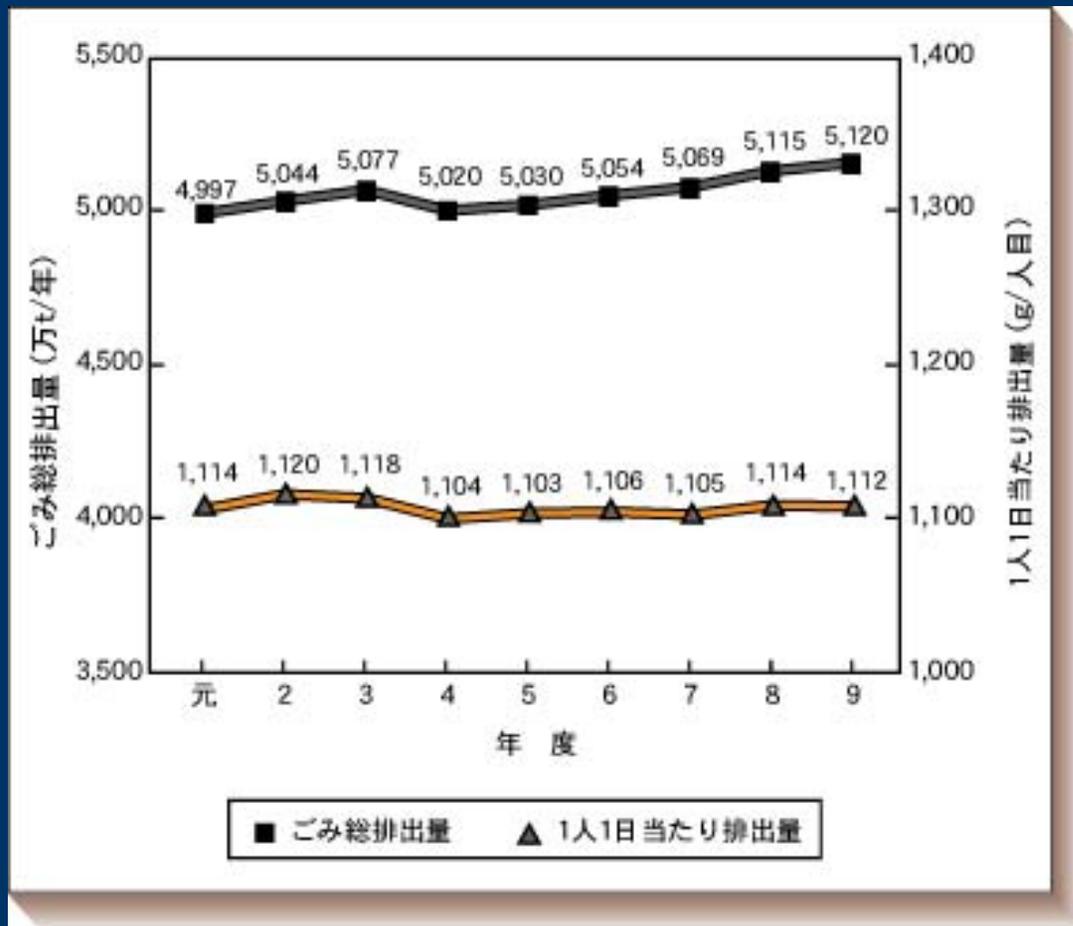
日本の廃棄物問題

- 背景

- 1、経済の発展 廃棄物の総排出量増加



廃棄物の総排出量



日本の廃棄物問題

- 背景

- 1、経済の発展 廃棄物の総排出量増加

- 2、処分場の逼迫

一般廃棄物：8、8年，産業廃棄物：3、1年

- 3、天然資源の節約

石油約43年、銅約56年、鉛約43年

- 4、ゴミ内容の変化



リサイクル



日本の廃棄物政策の流れ

	1967年以前	1967年以降	2001年現在
処理責任	地主と自治体	自治体と生産者	自治体と生産者
法律	汚物掃除法	廃掃法	容器リサイクル法等
課題	責任が不明確なため 伝染病などが蔓延	・埋立地の逼迫 ・資源の無駄使い	・生産者の反発 ・消費者の意識改革
	処理責任の明確化	・自治体の処理費用 増加	EPR 処理責任を民間へ

EPR:

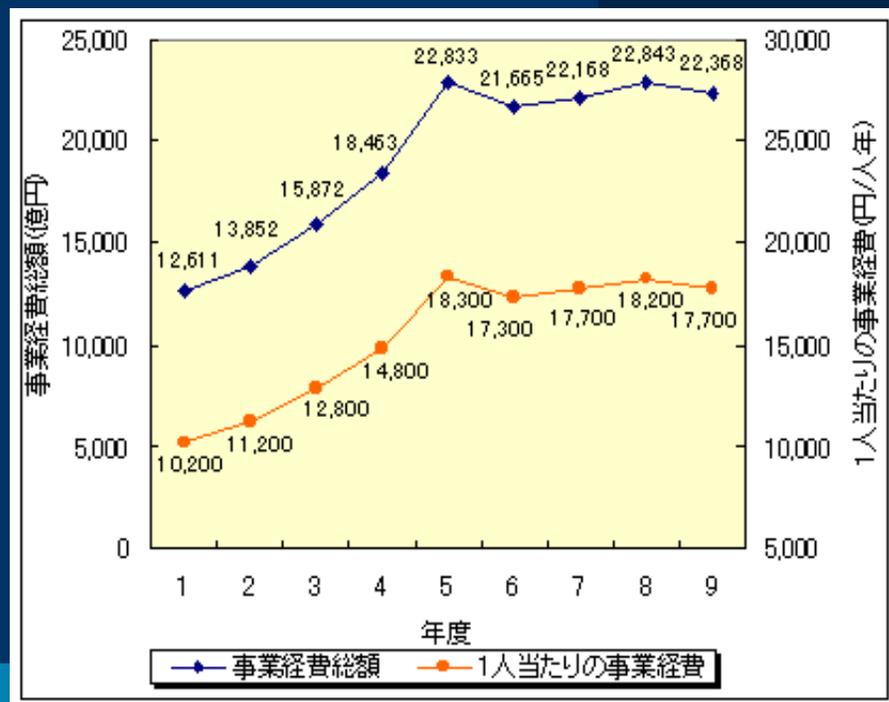
Extended Producer Responsibility

定義:「一般廃棄物の処理責任を地方自治体から生産者に物理的・金銭的に転換することで、廃棄物削減やリサイクルのインセンティブを与える政策。」

Q:なぜ必要なのか?
自治体の処理費用
増加



生産者にも費用負担
させるべき



EPRとは

生産者に処理費用を負担させる



廃棄物処理費用が製品の価格に影響を与える



廃棄物処理費用削減のインセンティブが働く



廃棄物の減量化・資源の有効利用
廃棄物処理費用の社会的最小化



具体例1：容器包装リサイクル法

法律の目的

… 容器包装廃棄物の減量と有効利用



{ 一般廃棄物の約半分を占める
処分場の逼迫の主要因

E P R

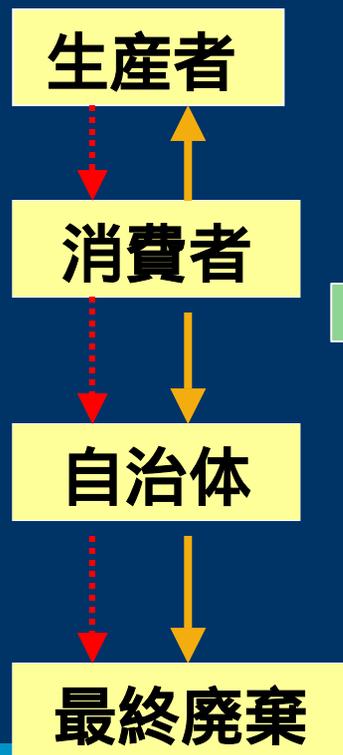
回収の物理的・金銭的責任 自治体

リサイクルの金銭的責任 生産者

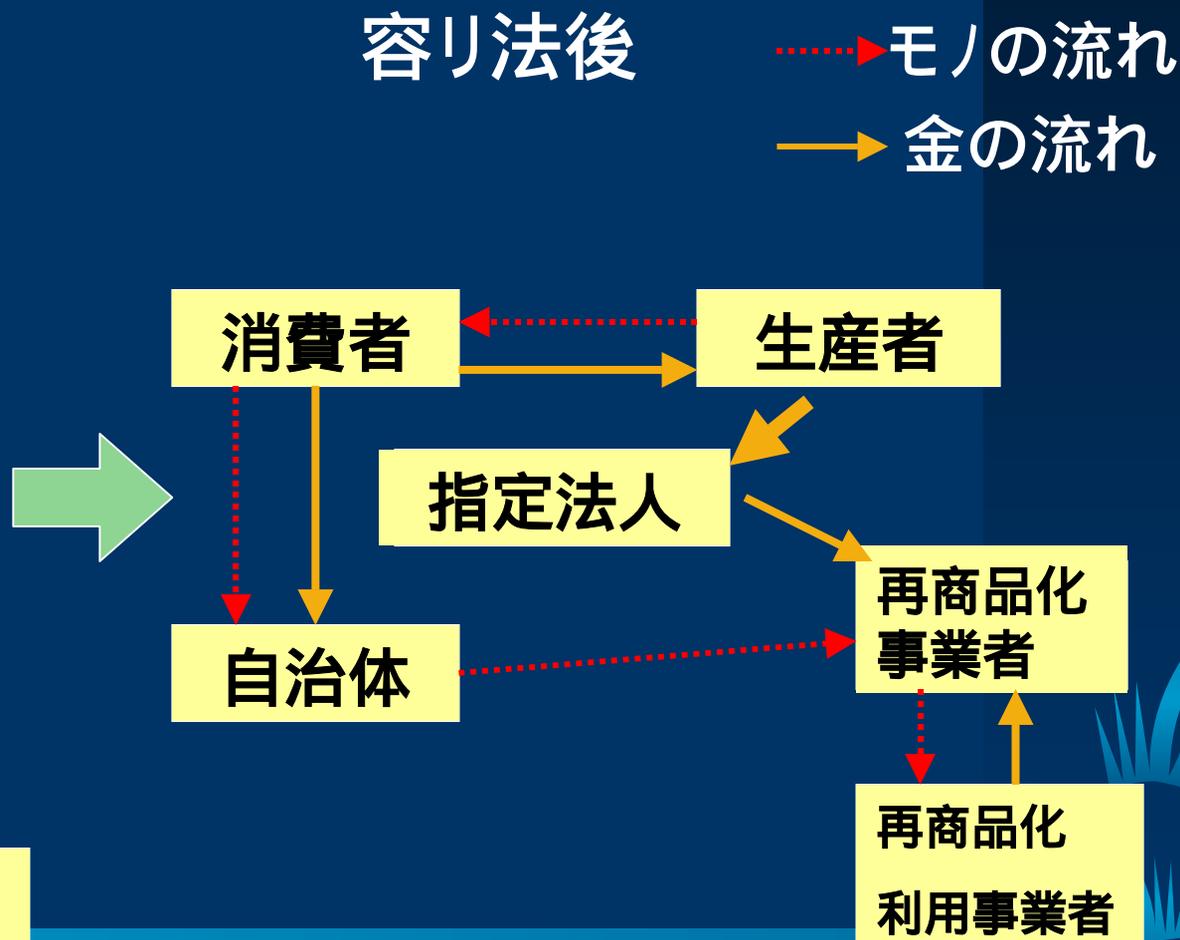


具体例1：容器包装リサイクル法

容リ法前



容リ法後



.....▶モノの流れ
——▶金の流れ

具体例1：容器包装リサイクル法

これまでは、自治体が税金で処理を行っていた
= 消費者・生産者に責任・義務はない
= 廃棄物削減インセンティブはない！

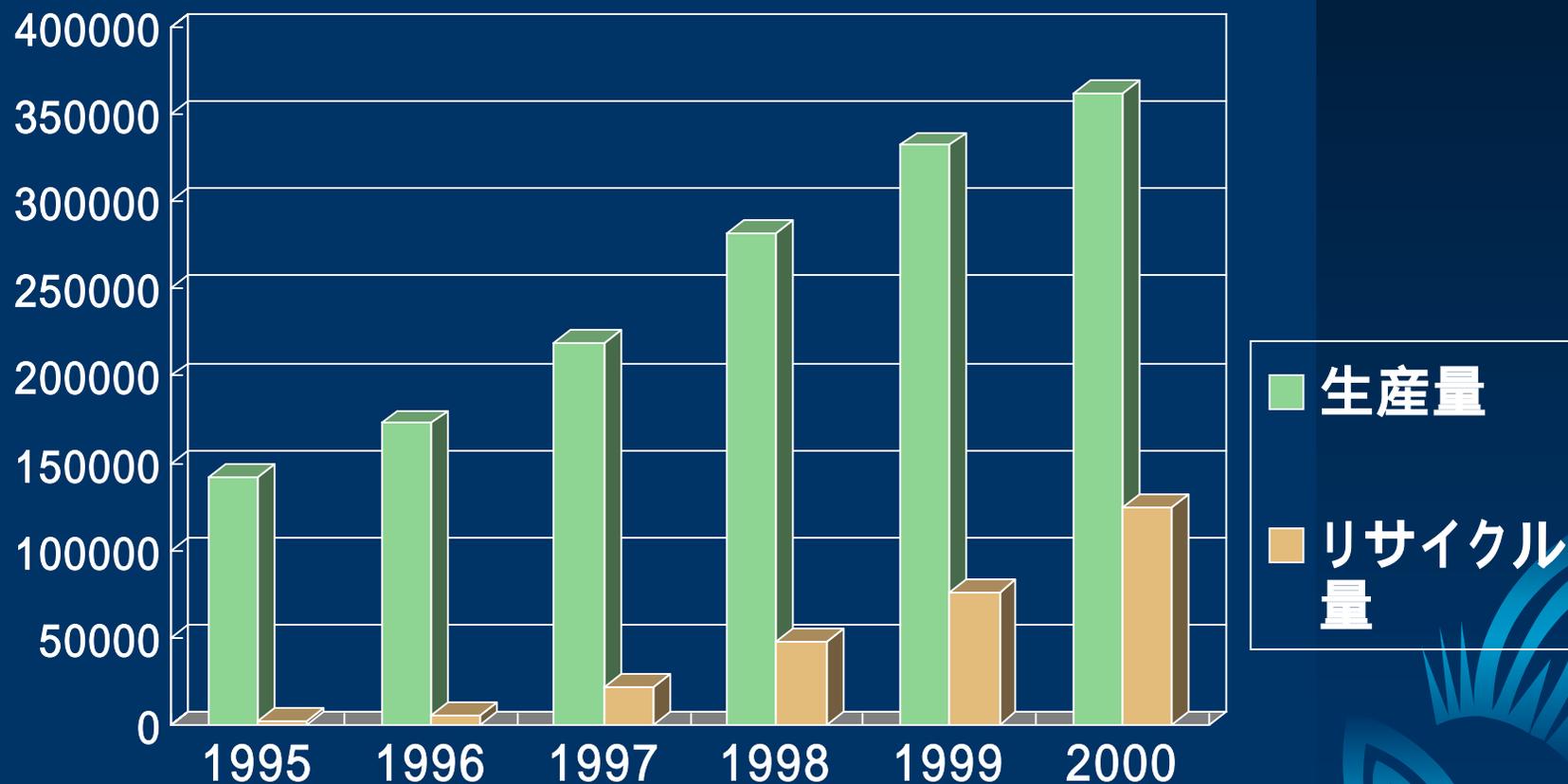


容器法では、
消費者—分別排出
自治体—収集・運搬
生産者—リサイクル

廃棄物を削減・
資源化する
→ インセンティブ
あり！



具体例1：容器包装リサイクル法



具体例2：家電リサイクル法

法律の目的・・・廃家電の減量と有効利用

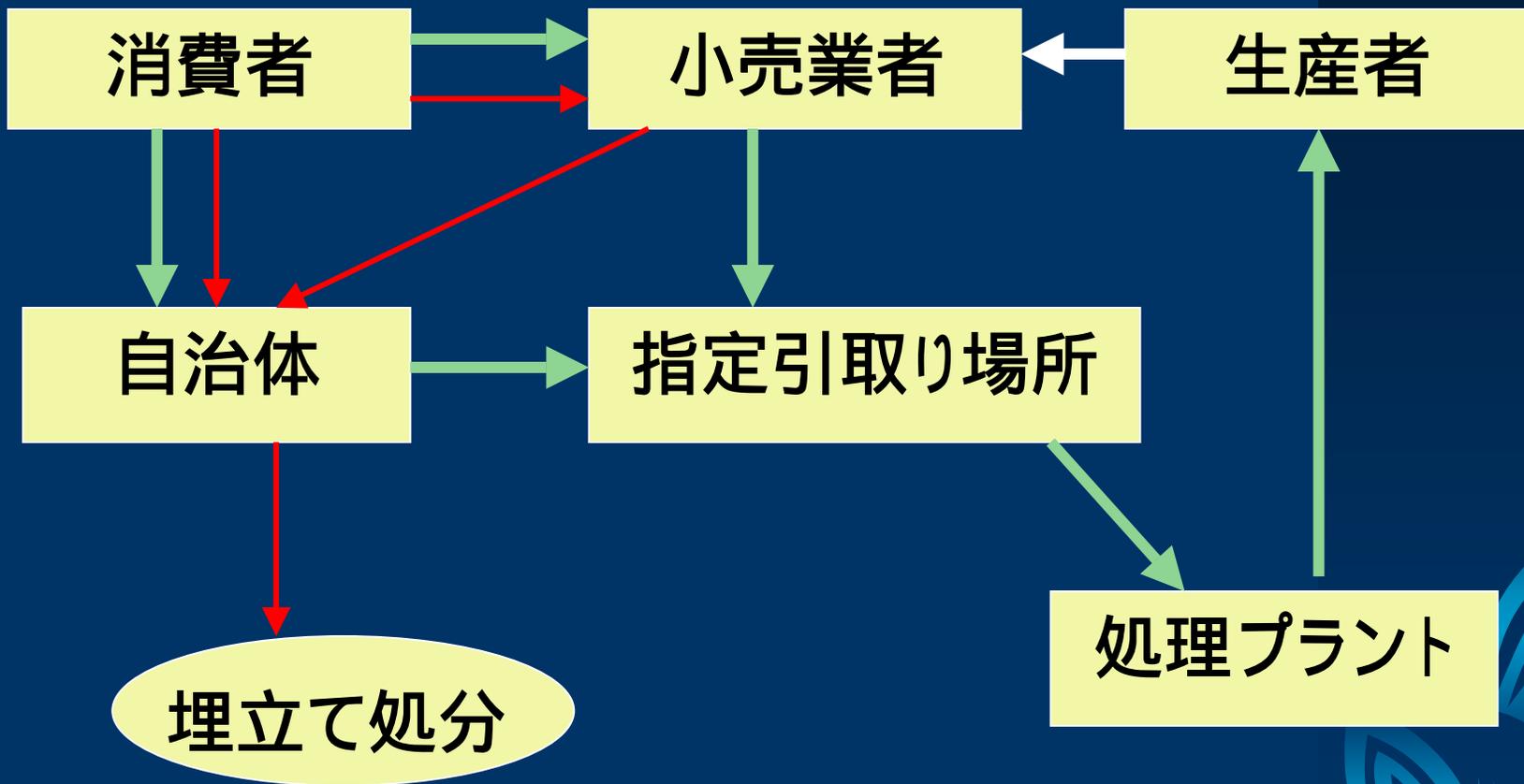


- ・そのまま埋め立てられている
- ・有用天然資源の割合が高い

対象機器：テレビ・冷蔵庫・エアコン・洗濯機



法律の具体例2：家電リサイクル法



法律の具体例2：家電リサイクル法

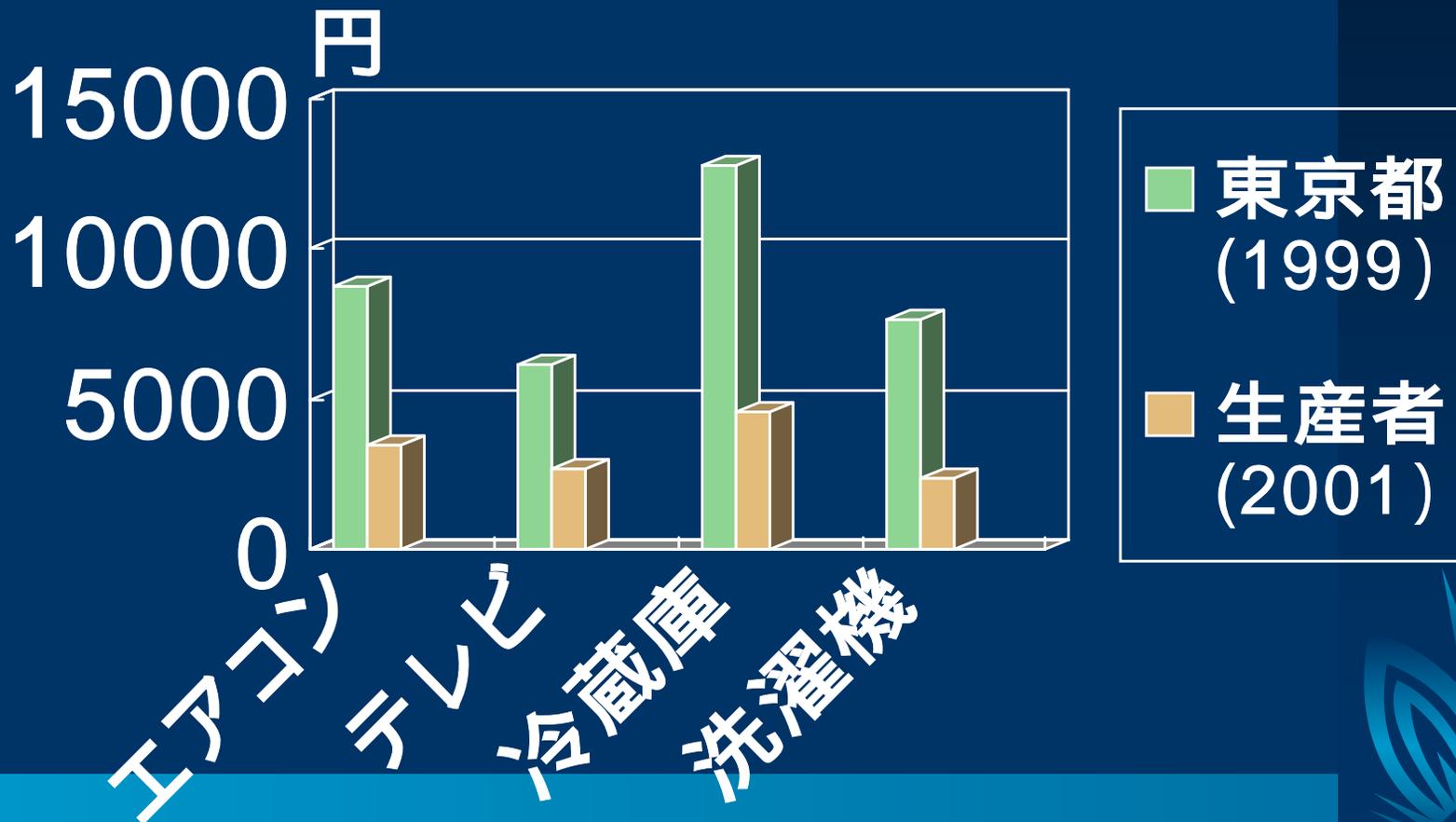
各主体の義務・責任

- 生産者
 - ・小売店、自治体からの引取り
 - ・自社製品のリサイクル
- 小売店
 - ・消費者からの引き取り
 - ・生産者への引渡し
- 消費者
 - ・リサイクル費用の支払い
 - ・適切な排出



法律の具体例2 - 家電リサイクル法

- 効果：生産者が廃棄物処理を行う方がコストが低い



まとめ : 中国の廃棄物問題

- 衛生処理がされない廃棄物が存在
- 廃棄物の総排出量が大幅に増加
- ゴミ内容の変化
- 埋め立て処分場の逼迫

先進国型の廃棄物問題へ移行



同じ問題を抱える日本の事例が参考になる

まとめ : E P R

日本など先進国の廃棄物処理政策
= E P R 処理責任を生産者へ

廃棄物処理費用が製品の価格に影響を与える



廃棄物処理費用削減のインセンティブが働く



廃棄物の減量化・資源の有効利用
廃棄物処理費用の社会的最小化



まとめ

現在、日本などの先進国では
廃棄物の処理責任は
自治体から生産者へ移行している



中国に日本の経験を参考にしてほしい



合宿・清華インゼミに向けて

- 中国の最新データ、最新の政策を研究
- 容り法と家電法のシステムと実績

